



# 進路だより

平成29年7月19日  
岡山県立岡山支援学校 進路指導係



本校のマスコット  
「ハッピー」

HPアドレス <http://www.okasien.okayama-c.ed.jp/okayyo.htm>

高等部では、6月12日(月)～6月16日(金)の1週間を中心に、現場実習が行われました。  
1年生は、初めての实習です。校内で作業活動を行いました。  
2、3年生は、校外の実習場所で、自分に合った活動や事業所を見つける目的や、将来利用することを前提とした実習を行いました。

## 校内実習

校内実習は、仕事や人との関わりの中で、働くことの意義や作業態度について考え、また、自分の特性・適性・課題について知る機会とします。



ピックの仕分け



ボルト・ナットの箱詰め



データ入力

実習期間のうち1日は、就労継続支援A型事業所のサンクルール今事業所の方においでいただき、データ入力やボルト・ナットの箱詰め作業を通しての指導をいただきました。作業内容もちろんですが、実際の就労現場の方にご指導いただいたこと自体が、よい勉強となりました。

## 校外実習



ワーク活動



ミュージックボール落とし



個別課題(歩行)

校外の事業所等で実習を行いました。いつもとは違う場所で、普段と違った生活を送ることで、雰囲気を感じ取ったり、自分ができることやこれからの課題について考えたりすることができました。

### 校内実習を見学して

1年生の校内実習を見学させていただきました。どの生徒も集中して黙々と作業に取り組んでいる姿に、自立に向かって成長していることを強く感じさせられました。作業の指示を聞いて「わかりました」、支援してもらおうと「ありがとうございます」、作業が終わると「できました」など、言葉づかいだけでなく、応対についてもこれまでの学習の積み重ねで、しっかりと身に付けてきているようです。

作業をしている中では、自分でやりやすいように持ち方や容器の向きを工夫する姿が見られ、“働く力”の積み重ねができていっていると実感しました。今後も毎日の生活の中で、課題に取り組む力をつけていってほしいと思います。

小学部教員

### 校外実習で感じたこと

生活介護施設に付き添いました。進路に対して不安感がとても大きかった生徒ですが、様々な活動に参加させていただいたり、施設に宿泊させていただいたりしたことで、見通しがもてたようです。1人で宿泊する体験はとても緊張したと思いますが、事前学習をしっかりとし、心配な要素を1つずつクリアしたことで、落ち着いて過ごすことができました。また、学校でしていた洗濯物たたみなど、みんなの手伝いを進んでしたり、空いた時間に何をしたらよいか自分から質問できたりしたことは、普段の学校生活の中で意識して取り組んだことが生かされた結果だと感じました。

高等部教員

### 校内実習を見学して

### 中学部生徒の感想です

私は、見学して、服装もきちんとしていたし、態度もきちんとしていました。

困ったら依頼したり、終わったら、出来ましたと報告したりもしていました。

間違えている部分などがあつたら、すぐ直すということも分かりました。みんな、これなら、こういうふうになれば出来るなど、自分に合ったやり方で作業し、早さよりも次に使う人のことを考えて、丁寧に作業していたところもすごいなと思いました。

あとは、自分は、すぐに集中が途切れてしまうので、今のうちに直しておかないといけないと思いました。今回は、普段の生活では学べないようなことが学べてとても勉強になりました。

作業が終わったら、報告して確認してもらい、次の作業をもらっていました。その時に、「ありがとうございます」と言っていました。お互いに気持ちよく働けるマナーだと思いました。作業を丁寧に行っていて、お客さんを満足させることを意識していました。自分もし高等部で作業をすることになったら、自分に合ったやり方を工夫することが、必要だなと感じました。また、作業学習のために、今の自分には見通しを持って課題に取り組む力を高めたいと思いました。

### 実習報告会を見学して

### 中学部生徒の感想の一部です。

- ・みんな言葉づかいもよく、内容も具体的でわかりやすかったです。
- ・高等部に行ったら頑張りたいです。発表している姿が、ハキハキしてかっこよかったです。
- ・校内実習を見に行ったときは、「課題」は聞けなかったので報告会で「課題」が聞けてよかったです。 等の感想がありました。

